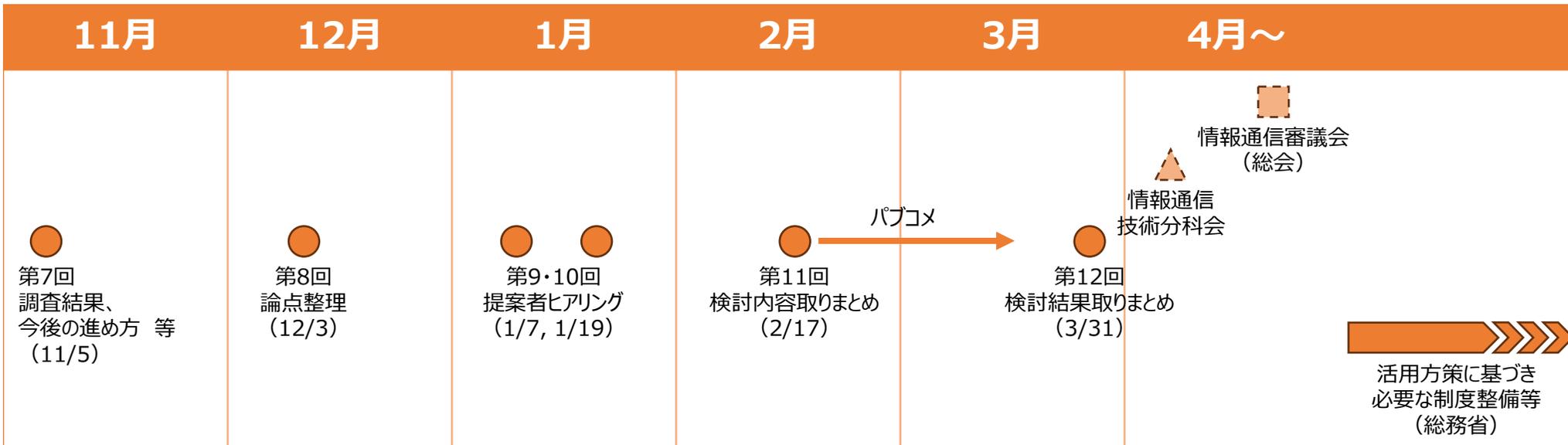


検討事項

- 900MHz帯を使用する新たな無線利用について、前回（第7回）会合で示されたスケジュールに沿って、**年明け以降、提案者からヒアリングを実施する予定。**
- 提案された内容が多様であることから、**統一的な観点によるヒアリングを行うため、論点を整理することが適当。**
- **今回整理するヒアリングの観点に沿って、提案者に対してヒアリングへの対応を依頼するとともに、委員会における検討内容についてもこれに沿って取りまとめ。**

今後の進め方（参考）



ヒアリングの観点

- **ニーズ**
具体的なニーズや用途、利用主体が明確か。
- **実現可能性**
サービスやシステムの提供主体、サービスやシステムの継続性、インフラ構築や端末の普及策、標準化・規格化への対応について実現可能性が高いか。
- **社会的な効果**
社会への貢献、市場規模・経済効果、周波数の有効利用等の社会的な効果が明確か。
- **技術的な要素**
他システムでの代替可能性はないか、技術的性能や希望する周波数範囲は妥当なものか、実装上の課題はないか。

ヒアリングの進め方

- 提案者に対して、上記ヒアリングの観点に沿ったヒアリング資料の作成及びヒアリングへの対応を依頼する。
- ヒアリング資料は、ヒアリング前に回収し、委員会構成員あて事前に送付する。
- ヒアリング資料及びヒアリングは、原則、公開する。
ただし、営業上の秘密等、公表することにより正当な利益を害するおそれがある資料については、電波有効利用委員会構成員限りとすることも可とする。
- ヒアリング後、委員会構成員に対して、上記ヒアリングの観点に沿って各提案へのコメントを依頼し、事務局において取りまとめた後、委員会において議論する。